

## アール・ブリュットジャポネ凱旋展 アンケート結果

### 1. アール・ブリュットジャポネ凱旋展の概要

- ・日時 2011年2月1日(火)～6日(日)
- ・会場 大津プリンスホテル コンベンションホール淡海  
アメニティーフォーラム15との同時開催企画として実施
- ・来場者数 3,491人
- ・アンケート回答者数 423人

### 2. 来場者(アンケート回答者)の概要

年齢		
年齢	回答数	%
12歳以下	5	1%
13～19歳	9	2%
20～29歳	53	13%
30～39歳	72	17%
40～49歳	84	20%
50～59歳	90	21%
60～69歳	91	22%
70歳以上	17	4%
無回答	2	0%
	423	100%

地域		
どちらから	回答数	%
滋賀県内	225	53%
他都道府県	196	46%
国外	0	0%
無回答	2	0%
	423	100%

参加区分		
参加区分	回答数	%
アメニティー フォーラム参	53	13%
一般	329	78%
関係者	11	3%
無回答	30	7%
	423	100%

展覧会の印象		
評価	回答数	%
とてもよい	316	75%
よい	97	23%
ふつう	8	2%
あまりよくない	1	0%
よくない	1	0%
他	0	0%
	423	100%

### 3. 展覧会への感想のうち主なもの(自由記述)

展覧会の感想・意見等	
1	このような世界の作品を見るのは初めてで、その芸術性にびっくりしました。
2	心に直接せまって来るようなこの感覚は言葉では表せない。私達が既成の型の中で生きているという現実をみせつけられた様に思います。この枠の外にはもっと自由ですばらしい世界が広がっているのだと頭ではなく、心が感じました。
3	予備知識なしで見ましたが、迫力に圧倒されました。ガイドの方の説明がわかりやすく、興味をそそる語り口にとっても好感が持てました。
4	自由奔放な発想と原始的な力がミックスした不思議な魅力があった。プリミティブアートに出会った気持ちだ。
5	圧倒的な迫力！これほどパワーがあるものとは思いませんでした。障害者に関係のない一般の方にも見て欲しいです。
6	多くの方々に見ていただき、その価値をわかっていただきたいと思います。アートは何か、芸術は何かの原点を考えさせられる機会をいただきました。

展覧会の感想・意見等

7	私は美大を出て専門教育を受けたものですが、アートの本来の姿をここに見て、頬をうたれた気分です。
8	帰国展だから、仕方がないが、全てを網羅する様子がひっかかる。今後はテーマごとの展示を希望する。
9	常設されて、いつでも見るできるようになれば幸せです。
10	今後も美術館やギャラリーで継続的に新作や旧作を見ることができるようになればありがたいなと思いました。
11	ここで展示されているのは心の中の形や色、そのものだと思います。だからこれ程までに人を引き付けるのだと思います。また、時間や人にとらわれることのない純粋な物であり、これが本当の作品だと思います。
12	利用者さん達の描く作品の扱いを今一度考えていかなければならない。
13	八幡のNO-MAでもアールブリュットの作品を見た事がありますが、今回の展覧会は作品数も多く、独特の世界に浸ることが出来ました。これからも、このような企画を楽しみにしています。
14	芸術とは？アール・ブリュットとは？商業的商品として扱われていいものか？売買や著作権。障害者と健常者のアートに違いはあるのか？今後、様々な問題が山積みされると思うが、作家がそれに巻き込まれることなく、作品を造りつづけられる環境が保たれるように守ってほしいと思う。
15	以前より多くの作家の作品が見られて良かった。しかし、皆こざれいにまとめられて「作品」となってしまった所に何かの作為を感じてしまいます。作者の本来の姿とは「別のモノ」になってしまった感じがますますしてしまいました。
16	もっと告知しているんな人にみてもらうべき。
17	とてもステキな作品ばかりでした。ぜひもっと多くの人に知ってもらいたいし、我が県でも開催してもらえたらと強く思いました。
18	いつ見ても不思議な気持ちになる作品ばかりです。作家の思いを読み取ろうとしても読めない。
19	たくさんの作品を実際に見ることができてよかった。独創的な感覚と筆や線、色の使い方がとても新鮮で楽しい展示でした。
20	元気がでるという第一印象です。一生懸命無心で行われている。作品作りの時間の中で出来上がった作品に苦しみやつらさがなく、見るものに希望と感動を与えるのは、まさにアートと感じました。